

谷崎潤一郎記念館 ロビーギャラリー&文学館講座

期間 6月8日~25日
作品展 多田秀美・高橋久美子「ロマンチック ロマンチック」
内容 磁器アート&デコラティブペイント
費用 入館料・300円が必要

文学館講座
【井上正三「スケッチ講座」】
日程 第1・3水曜日午前10時~正午 会場 記念館講義室 講師 作家・井上正三氏 定員 20人 受講料 各回5,000円
【「ちょっといい文章書いてみませんか」】
日程 第4水曜日午後2時~3時30分 会場 記念館講義室 講師 武庫川女子大学講師・篠原嘉彦氏 定員 20人 受講料 各回2,500円
問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852

残月祭

谷崎潤一郎生誕百二十周年記念
谷崎潤一郎が愛した地歌「残月」にちなみ、華やかなことが好きだった谷崎にふさわしく、誕生日である七月二十四日に谷崎を偲ぶ「残月祭」を開催します。

日時 七月二十四日(月)午後一時三十分~三時三十分(午後一時開場)
会場 ルナ・ホール
定員 先着六百人
内容(第一部)一弦琴演奏(兵庫)

呉無形文化財(須磨琴保存会)《第一部》講演「谷崎先生のお話」(第二部)瀬戸内(萩藤氏作家) 思い出「瀬戸内萩藤氏作家」
入場料 二千五百円
申し込み 往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数を記入し、谷崎潤一郎記念館へ。
氏名・電話番号・参加人数を記入し、谷崎潤一郎記念館へ。

社会教育関係団体登録申請説明会

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

今年度は、三年に一度の社会教育関係団体登録の年になります。今年度は、今年に一度の社会教育関係団体登録の年になります。今年度は、今年に一度の社会教育関係団体登録の年になります。

体および六月に申請を予定している団体です。次のおり説明会を行いますので、社会教育関係団体に登録を希望する団体の代表者は、出席してください。
日時 六月十一日(日) 午後一時三十分、PTA・青少年・スポーツ、芸術・芸能関係団体 午後三時、歴史文学・教養学習・コミスク関係その他の団体

女性センター相談日のお知らせ

〔相談予約電話 ☎38-2022〕
専門の相談員が相談に応じます。
女性の悩み相談<要予約>
日時 毎週金曜日 午後1時~4時
内容 夫婦・家族関係、心の悩みなど
暴力(DV)に関する相談<要予約>
日時 6月7日(水)午後1時~4時
内容 夫や親しい関係にある男性からの暴力

男女共同参画週間 6月23日~29日

ひとひと女と男

- バランスある社会へ -

男女共同参画社会とは、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担を解消し、女性と男性が互いの人権を尊重し、社会の対等な構成員として責任を分かち合い、それぞれの個性を十分に発揮できる社会をいいます。本市では、平成15年3月に「第2次男女共同参画行動計画」(ウィザプラン)を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを行っています。今回は、昨年12月に策定された国の「男女共同参画基本計画(第2次)」をご紹介します。本市が取り組むべき課題について、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

問い合わせ 女性センター ☎38-2023/FAX38-2175(〒659-0092 大原町2-6 ラ・モール芦屋2階)Eメール josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp

出前講座のメニューが新しくなりました

講座内容	担当課	消火訓練	消防本部
家庭における防災	防災対策課	救急講習	消防本部
阪神・淡路大震災の教訓から	防災対策課	消防警見学	消防本部
南海地震に伴う津波	防災対策課	社会福祉協議会の活動	保健福祉協議会
国民保護法	防災対策課	高齢者福祉サービス	高齢福祉課
芦屋市の国際交流	市民参画課	介護保険制度の概要	高齢福祉課
男女共同参画社会を目指して	市民参画課	芦屋すこやか長寿プラン21	高齢福祉課
芦屋市の財政状況	財政課	芦屋ハートフル福祉公社の事業	ハートフル福祉公社
芦屋市の行政改革	行政経営課	乳幼児期の健康講座	健康課
悪質商法について	経済課	幼児期の健康講座 1	健康課
国民健康保険について	保険年金課	幼児期の健康講座 2	健康課
老人保健制度について	保険年金課	中高年の健康講座 1	健康課
人権について	上戸1文化センター	中高年の健康講座 2	健康課
児童センター事業の概要	上戸1文化センター	高齢者の健康講座	健康課
芦屋市の環境行政	生活環境部	ニュースポーツ教室	スポーツ青少年課
ごみの減量	環境処理センター	芦屋の教育	学校教育課
ごみの出し方	環境処理センター	幼児教育	学校教育課
芦屋市の廃棄物処理	環境処理センター	高校教育について	学校教育課
芦屋市の下水処理	下水処理場	健康教育	学校教育課
住民がつくる都市計画(地区計画)	都市計画課	生徒指導について	学校教育課
芦屋市の子育て支援	子ども課	生涯学習とコミスク・学校開放	生涯学習課
食育について	子ども課	歴史講座	生涯学習課
子どもの遊び	子ども課	文化財見学会	生涯学習課
絵本の読み聞かせ	子ども課	青少年健全育成の推進	青少年センター
子育てセンター事業	子ども課	公民館の事業	公民館
芦屋市の保育	子ども課	みんなの図書館	図書館
芦屋市の水道	水道部	インターネットで本を探そう	図書館
応急手当	消防本部	2006のじぎく兵庫国体	国体推進室
防火講座	消防本部	【特別メニュー】ご希望の学習内容をご相談ください。	

「活用ください!」新「出前講座」

市が行っている仕事で、皆さんがわかりにくいことや、お聞きになりたいこと、暮らしに役立つ話や実技などについて、市職員が皆さんの希望される場所へ出向き説明します。市内在住・在勤・在学者で構成する二十人以上の団体やグループで、左表からメニューを選び申し込みください。
なお、メニューにない講座についても可能な限り対応しますので、気軽にご相談ください。
時間 午前九時から午後九時まで

お問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

の関九〇分以内) 会場 学習室主催者が市内に確保申し込み 講座開催予定日の一カ月前までに生涯学習課へ。業務の都合により開催日時などご希望に沿えない場合があります。

女性センター講座

あなたを守る!護身術講座
日時 7月3日(月)午前10時~正午 会場 芦屋警察署内道場 講師 芦屋警察署生活安全課長・県警本部術科指導担当 定員 先着30人 一時保育 2歳以上の就学前児、先着8人(1人300円。6月26日までに要予約) 申し込み はがき・電話・ファクス・Eメールで、講座名・住所・氏名・電話(ファクス)番号、一時保育希望者は子どもの名前・生年月日を記入し、女性センターへ。

初歩からの情報誌編集講座 - 私の手で紙面づくり -
情報誌づくりに携わるボランティアの養成講座。地域のミニコミ誌やグループ通信などの情報誌を編集するノウハウを初歩から学び地域活動やグループ活動に活かしませんか。
日時 6月28日・7月5日・12日(水)<全3回>午前10時~正午 講師 久野幸子(NPO法人にっち倶楽部編集長) 定員 先着20人 内容 「情報誌とは(企画から発行まで)」「読みやすい紙面の作り方」「情報誌完成」 対象 情報誌の編集に興味のあるかた 費用 900円 一時保育 2歳以上の就学前児、先着8人(1人1回・300円。6月23日までに要予約) 申し込み はがき、電話、ファクス、Eメールで講座名・住所・氏名・電話(ファクス)番号、一時保育希望者は子どもの名前・生年月日を記入し、女性センターへ。

展示
大竹幸子絵画展「Imagine」
期間 6月1日~29日(土・日曜日を除く) 午前9時~午後5時 会場 女性センター

新基本計画のポイント

政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
社会のあらゆる分野において、二〇二〇年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも三〇%になるよう、各分野での自主的取り組みを推進、奨励。
女性のチャレンジ支援
チャレンジ支援策を推進し、情報提供のワンストップサービス化のための環境構築。
「いつた家庭に入った女性の再チャレンジ」再就職、起業等支援策を充実、再就職先として、企業の取り組みも促す。

男女雇用機会均等の推進
男女双方に対する差別的禁止、妊娠等を理由とする不利益扱いの禁止、仕事と家庭・地域生活の両立支援と働きかたの見直し
男性も含めた働きかたの見直しを大幅かつ具体的に推進。
短時間正社員など質の高い多様な働き方を普及。
保育サービスの充実など多様なライフスタイルに対応した子育て支援策の充実。
新たな分野科学技術、防災、まちづくり、環境などにおける男女共同参画を推進。

女性研究者の採用等拡大、育児等と女性の性差に応じた的確な医療の両立支援
男女の性差に応じた的確な医療の両立支援
女性に對する暴力への社会的認識の徹底など基盤整備づくり。
暴力発生を未然に防ぐ観点からの予防啓発プログラムの作成、実施、相談体制の充実、被害者の保護や支援策の推進。
あらゆる分野において男女共同参画の視点に立ち関連施策を立案・実施し、男女共同参画の実現を目指す。

美術博物館展覧会

子どもがせんせい吉原治良の戦後一
戦後、子どもの造形に深い関心を寄せ、積極的にかかわった吉原治良(1905~1972年)の活動を中心に取り上げます。子どもの美術教育に関する吉原治良の資料を、当館所蔵の1940年代半ばから1950年代中頃の吉原の油彩画、関連の素描と共に展覧することで後に具体へと結実してゆく吉原の美意識の原点を探ります。

コレクターの眼~枕~
コレクター独自の視点によって収集された作品をもとに、展覧会を企画しました。今回は、日々の暮らしの中で大切な役割を果たしているにも関わらず、あまり省みられることのなかった、「枕」に焦点を当てます。

美術 第1展示室
【関連講座「枕」敵襲】
日時 6月18日(日)午後2時~午後3時30分(要観覧券) 会場 美術博物館講義室 講師 富本憲吉記念館館長・辻本 勇氏

歴史 第2展示室
会期 6月17日~9月18日 7月17日(月)・9月18日(月)は開館、7月18日(火)休館
開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 観覧料 一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下は無料*(*)内は20人以上の団体料金
問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432 (伊勢町12-25)

具体的な数値目標(抜粋)

内容	現状	数値目標	達成時期
国家公務員 種事務系区分試験の採用者における女性の割合	21.5% (平成17年度)	30%	平成22年度頃
「男女共同参画社会」という用語の周知度	52.5% (平成16年)	100%	平成22年
ポジティブ・アクション(1)に取り組む企業の割合	29.5% (平成15年度)	40%	平成21年度
長時間の時間外労働(週労働時間60時間以上)者の割合	12.2% (平成16年)	1割以上の減少	平成21年度
育児休業取得率	男性0.56%女性70.6% (平成16年度)	男性10%、女性80%	平成26年度
ファミリーサポートセンター事業(2)の拡充	全国368カ所 (平成16年度)	全国710カ所	平成21年度
延長保育の推進 休日保育の推進 夜間保育の推進	12,783カ所 666カ所 66カ所(平成16年度)	16,200カ所 2,200カ所 140カ所	平成21年度
夫婦間の各行為について暴力として認識する人の割合	「平手で打つ」73.4% 「なぐるふりをしておどす」56.3%(平成15年)	(暴力としての認識度) 100%に近づける	

1 積極的差別解消政策。不平等な待遇を受けてきた人種的・社会的少数派に対し、教育や雇用の機会を一定の比率で優先的に取り扱うことで実質的な機会均等の実現を目的とした暫定措置。
2 急な残業や子どもの急病等に対応し、臨時的、突発的な保育等を地域における相互援助活動として行うもの。

6月 テレビ広報ガイド

芦屋市広報番組	あしや30	サターデー min.	放送時間 (30分)
芦屋市政キララ	紙ごみ0作戦		8:00
広報トピックス	オープンガーデン2006		11:30
イベント情報	集会所トーク		16:00
芦屋の中の台湾	フィリピンスクールプロジェクト		19:30
ミニ特集	台湾の食生活		22:30
市民の時間	地球温暖化物語		
	学校給食ができるまで		

6月23日(金)は「J:COMスペシャルデー」のため、の放送はありません。
番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネットワーク神戸芦屋(J:COM)カスタマーズセンター ☎0120-13-8160

NHK公開セミナー 「チャングムの誓い」

日時 6月22日(木)午後1時30分~3時30分 会場 ルナ・ホール
内容 ドラマ「チャングムの誓い」当時の風俗・食文化からドラマの裏話まで 講師 生田智子氏(女優・チャングムの声を担当)、小川純子氏(NHKチーフプロデューサー)
申し込み 6月8日(木)必着 までに、往復はがき(1人1枚)に、住所・氏名・電話番号を記入し、下記へ。
問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

地球家族コンサート

魂をゆさぶる中国二胡の調べ
内容 1部 中国の楽器二胡の演奏 / 2部 お茶・ワインを一緒に飲みながら交流 出演 リュウ・フォン(劉 鋒)
日時 6月18日(日)午後7時(6時30分開場) 会場 ラポルテ・ホール(JR芦屋駅北側) 費用 2,000円(当日2,500円)、学生・1,500円 ワンドリンク付
問い合わせ 国際交流協会 ☎34-6340

芦屋川カレッジ公開講座

日時 6月14日(水)午後1時15分~2時45分 会場 市民センター401室
内容 いま、問い直す環境と文明 講師 国際日本文化研究センター教授・安田喜憲氏 定員 先着50人 受講料 300円 申し込み 電話かファクスで下記へ。
安田喜憲氏(講座風景)
問い合わせ 公民館 ☎35-0700/FAX 22-6924

会下山遺跡発掘50周年記念事業

会下山から邪馬台国へ

高地性集落の謎と激動の弥生社会
日時 6月25日(日) 午後1時30分~2時10分
午後2時20分~4時 会場 ルナ・ホール
内容 記念講演 苅谷俊介氏(俳優・日本考古学協会会員) 歴史フォーラム「会下山遺跡発掘50周年」を語る 申し込み はがきかファクスに、住所・氏名・電話番号を記入し、公民館「会下山50周年記念事業係」(〒659-0068 業平町8-24 FAX22-6924)へ。後日、入場整理券をお送りします。*定員になり次第、締め切ります。
苅谷 俊介氏 (写真撮影 長友健二)
ご自由にご覧ください。
日時 6月22日~7月8日 会場 市民センター展示場
問い合わせ 生涯学習課文化財担当 ☎31-9066